

青色が目印のマイ・タイムライン記入シート

マイ・タイムライン 記入シート

「マイ・タイムライン」を作成し、適切な避難行動を事前に整理しておきましょう。

日ごろから	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
情報収集に努める	災害への心構えを高める	自らの避難行動を確認	危険な場所から高齢者等は避難	危険な場所から全員避難	命の危険 直ちに安全確保!
避難情報等	早期注意情報(警報級の可能性)	大雨注意報 洪水注意報	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
行動	外出前に天気予報を確認 最新の天気予報を入手 ハザードマップの確認 災害時の行動について家族と話し合う	災害情報をこまめに確認 避難の今後の予定を確認しておく 家族の行動を確認 マイ・タイムラインの確認	避難に時間を要する人(高齢者の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難開始 その他の方は避難の準備開始	速やかに安全な場所や避難先へ避難 命が懸かっている場合は、速に安全な場所や、自宅のより安全な場所へ避難	すでに災害が発生している状況 命を守るための最後の避難行動
事前の確認	住んでいる地域の危険は? [土砂災害警戒区域内(イエロー-レッド)] [洪水浸水想定区域内(浸水深_m~_m)] 自宅の近くに川はある? <input type="checkbox"/> 川 <input type="checkbox"/> 用水路 家族で決めた避難場所は? [自宅の上層(大階層)] [自宅外-] 移動時間-	非常食・飲料水の備蓄は? [3日分] [7日分] 非常持ち出し品の準備はできている? [非常食・飲料水] [懐中電灯] [携帯電話] [消火器] [現金] [現金などの貴重品] [免許証、保険証] [車で運転されたら(お薬手帳)] [常備薬] [衣類・下着類] [砂藪・毛布など] [マスク] [消毒液] [体温計] [粉ミルク・哺乳瓶] [哺乳乳] [紙おむつ]	自主的な避難行動のきっかけとなるスイッチ(タイミング)は? 事前にスイッチ(タイミング)を決めておきましょう。 <b>スイッチ1</b> (余裕をもって行う避難行動) [川] 観測所 水位_m [川] の洪水危険度分布が_色 [土砂災害危険度情報] 色	<b>スイッチ2</b> (緊急避難行動) [川] 観測所 水位_m [川] の洪水危険度分布が_色 [土砂災害危険度情報] 色	万が一逃げ遅れた場合は生命を守る行動をとりましょう。 近隣の頑丈な建物や自宅内で安全を確保しましょう。
「いつ」「だれが」「何を」するか マイ・タイムラインを作ってみよう	あらかじめの家族内で話し合った自分自身の避難行動計画(マイ・タイムライン)を作ってみよう				
情報の入手先	近隣の避難場所				

近くの避難場所いざという時の連絡先を記入

避難行動計画を記入



家族で地域でタイムラインの作成を  
誰が、いつ、どこで行動するのか決めておく「タイムライン」(避難行動計画)を

作ってみましょう。事前に家族で相談しておくで安心です。用紙は、市ホームページに掲載。左下コードからアクセス可。



多世代交流施設まなびあむ  
新たに避難所として指定  
昨年、旧市民病院の施設を活用して整備した多世代交流施設「まなびあむ」(満屋)を、新たに避難所(自主避難所)として指定しました。

多世代交流施設まなびあむ  
新たに避難所として指定

避難に必要な物が揃っているか確認を  
避難所や屋内での避難などを想定し、備蓄(非常持出品)を備えておきましょう。また、避難所はクラスターが起る可能性がある場所です。感染を防ぐため、皆さんの協力をお願いします。  
【非常持出品の例】  
◆非常食(乾パン、缶詰など)  
◆懐中電灯  
◆体温計  
◆マスク  
◆アルコール消毒液 など

# INTERVIEW インタビュー

## タイムラインをもとに定期的な活動を

幸いにも大波上自治会は台風などによる大きな被害が出ていません。しかし、独居世帯が多く、防災行政無線も聞き取りにくい地域です。今は大丈夫でも今後も安全という保障はなく、いざという時の避難に備える必要があることや、自治会長の任期が1年で変わることで、また防災への意識の希薄化を防ぐため、4年前に自主防災組織を設立しました。

取り組みとして、昨年にタイムラインを作成し、地域住民に対するタイムラインや土砂災害ハザードマップの研修、避難訓練を実施しました。今後も、1年に一度は地域住民に対し研修を行っていきます。



大波上自主防災部 事務局長 荒木 隆義 さん

## 地域全体で災害への備え

令和元年度に当時の自治会長がマイ・タイムラインを作成し、各家庭に1部ずつ配布して災害への備えをしていました。災害時は住民同士が声掛けをするなど、何か地域全体で災害への備え・準備のできることがないかと考え、上安久防災計画を基に上安久自治会全体のタイムラインの作成に取り組んでいます。

上安久自治会は山に面している地域なので土砂災害への対応についても記載しています。今年の災害シーズンまでには完成させたいと考えており、このタイムラインが地域の皆さん一人ひとりの災害への意識付けになればと思います。



上安久自治会 自治会長 稗田 靖彦 さん

【地域での取り組みを支援】  
自分たちの地域は自分たちで守る「共同の取り組み」として、自治会や自主防災組織など、地域ぐるみでタイムライン作成が進んでいます。

市でも、作成のアドバイスを行うなどの支援を行っています。気軽に危機管理・防災課 ☎66・1089(9)へご相談ください。

# 災害用土のうを提供します

出水期の大雨による家屋などへの浸水被害軽減のため、市民の皆さんに土のうを提供する「土のうステーション」を次のとおり開設します。



【開設期間】  
6月8日(水)～11月30日(水)  
(加佐公民館は11月4日(金)まで)

【設置場所】  
◆大浦地区…平ちびっこ広場=旧平小学校跡地  
◆東・中地区…土木管理センター  
◆西地区…西舞鶴駅東口駐車場  
◆加佐地区…加佐公民館

【対象】舞鶴市内在住の人(事業所除く)

【提供物】土のう(約10<sup>3</sup>g/袋)

【提供方法】  
設置場所から必要数を持ち帰る。不足している場合は、備え付けの土のう袋、スコップで土のうを作製して持ち帰る。

【利用上の注意】  
非常用土のうのため、必要数のみ持ち帰ってください。市による個別の配送、回収は行いません。不要となった土のうは、ステーション開設期間中に返却してください。

直射日光などによる劣化のため、土のう袋が破れることがあるので注意してください。  
《土木課 ☎66・1049)》

今年度から東・中地区の設置場所が土木管理センター(市場地内)に変更となっています。下の地図で確認を。



▲東・中地区の土のうステーション設置場所